



令和元年度（9月2日～9月13日）インターン実習生

## 大西 達也さん

岡山大学 環境理工学部 環境管理工学科 3年生  
徳島県美馬市出身

吹奏楽部でチューバを担当する縁の下の力持ち！

農林水産省の就業体験実習（インターンシップ）に岡山大学の大西さんが参加してくれました。  
インターンに参加して思ったことや伝えたいことなど、率直な意見をいろいろ聞いてみました！

### Q1. インターンシップに参加しようとしたきっかけは？

インターンシップに参加しようとした理由は2つあります。1つは地元（四国）の農業土木の現場がどのようなものか知りたかったからです。2つ目は、大学で学んでいる農業土木や農村社会学がどのように社会に貢献しているのか、どう役に立っているのかを肌で感じることで、今後の大学への勉強に活かすことができ、就職の際も役に立つのではないかと考えたからです。また、人から聞いた話だけではなく、自分で職場の仕事内容を体験できることも参加をこめた大きな理由です。

### Q2. 中国四国農政局 四国土地管理事務所を選んだ理由は？

地元近く、大学で学んでいることを活かせる、今後の進路を考える上で1番適していると思ったからです。先ほども述べましたが、僕は地元のために働きたいという気持ちが大きいです。そのため民間企業ではなく、住民との距離が近い公務員を目指そうと考えるようになりました。また、県や市とは違い大規模事業の計画をとりまとめていることも決め手の1つです。

### Q3. 実際に働いてみてどうだった？

今回のインターンでは施設見学がメインであったので、地元の方との交流が少なかったと感じました。また、測量や流量測定など大学で勉強していることは、公務員が行うことはあまりないということがわかりました。しかし、事業の規模が想像以上に大きく、事業費もスケールの大きいものでした。また、設計コンサルタントと契約した業務の管理も行わなければいけないので、責任が重くのしかかってくることもわかりました。

### （参考）実習スケジュールについて（7日目の例）

勤務時間 9:45～17:15

	出勤
9:35	
	準備（当日のスケジュール確認等）
9:45	
	ストックマネジメント、機能診断調査に関する概要説明
11:00	
	農業水利ストック情報データベースに関する概要説明
12:00	
	昼食
13:00	
	農業水利ストック情報データベースへの入力作業
14:00	
	機能診断業務(R1契約)における業務内容説明
15:00	
	機能診断業務におけるコンサルタント打合せに参加
16:30	
	打合せ議事録作成
17:15	
	退庁



ストック情報データベースの入力作業実習



コンサルタントとの業務打合せに参加

#### Q4. インターン中に苦労したことは？

僕はこのインターンが初めての経験だったので、始まる前はとても緊張しました。しかし、視察や業務を行う中で、職員の方に丁寧にわかりやすく説明・指導をしていただき次第に緊張がほぐれていきました。

一方で、業者との打ち合わせに参加させていただいた時など専門知識が必要な場面では、僕の知識不足のため話が理解できず、苦労したこともありました。また、岡山市からの通勤だったため、体力面での苦労もありました。

#### Q5. 将来はどんな職種を目指しますか？

今回のインターンを経験するまでは、県や市の公務員として働くことを考えていたのですが、大規模な事業の一端を担ってみたいという気持ちを持つようになりました。また、大学では農業土木だけではなく農業社会学も学んでいるので、農業経営についても携わってみたいと考えるようになりました。

#### インターンシップを検討している後輩へメッセージを！

今回のインターンでは、ダム内部や取水工など普段立入りできない場所に入らせていただくことができました。また、職場の方から実際の現場の話や試験の話聞くことができました。どれも貴重な体験ですのでインターンに行くことをお勧めします。

早明浦ダム視察



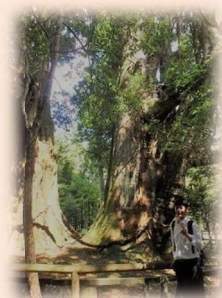
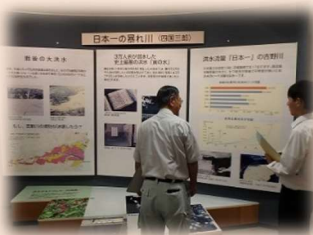
施設維持管理体験



実習成果発表



他にもいろいろ・・・



#### インターン担当者から一言（実習担当：企画課長 木原 伸英）

大西さんは、座学・現地調査問わず、興味を持って積極的に質問して取り組んでいたのが、受入側も大変助かりました。ありがとうございました。

インターンシップは仕事内容だけでなく職場の雰囲気も実感できるため、自分の就職先を考える時のひとつのものさしとなるものだと思います。今回の実習をきっかけに自分の将来に思いを馳せ、「これだ！」というものを見つけ、ポジティブ・アクティブにゴールに向かって一生懸命頑張ってください。

また、今回頂いた意見をもとによりよい実習を来年実施できるように改善していきたいと思っています。最後に、この記事を読んで興味を持った方は是非ご応募下さい。お待ちしております。



自身がインターン生  
だった頃（17年前）